

謹賀新年

笑顔と活力があふれ、この町を誇りに思う
「心がふれあう感動のまちづくり」。
ともに築いていきたいと思います。



町民の皆さまには、希望と輝きに満ちた新年を迎え、健やかにお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。平素は、町政全般にわたり温かいご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成25年10月に町長に就任してから、「心がふれあう感動のまちづくり」を町政運営の軸として、協働・連携により持続的に発展するまちづくりを進めてまいりました。町民の皆さまの積極的な参画に、感謝申し上げます。

そして昨年10月からは、引き続き2期目を務めさせていただくこととなりました。1期目で手掛けてきたことをさらに充実させていくため「情報通信技術を活かしたまちづくり」「地場産業が元気になるまちづくり」「安心安全のまちづくり」「魅力あるまちづくり」「人を活かした活力あるまちづくり」をテーマとした施策を展開していきたくと考えています。

平成29年を振り返ってみますと、3月には、土砂崩れの影響で運休していた「南アルプスあぶとライン」接岨峡温泉駅・井

川駅間が、約2年半ぶりに開通しました。近年、多くのメディアに取り上げられ注目を集める奥大井地域において、さらなる観光振興へ向けて大きな追い風となった出来事でした。

4月には、IT企業「ゾーホージャパン」のサテライトオフィスが町内に開所されました。この町が有する高度情報基盤と豊かな自然環境、そして町民の温かい人柄を評価いただいております。町内において新たな雇用創出と多様な働き方をもたらすものとして、大いに期待しているところです。

9月からは、町内のすべての小中学校で、ICT機器を活用した授業が本格的に始まりました。その教育は県内でも先進的な取り組みとなっており、11月には県立川根高校にて「未来の学びフォーラムin川根本町」が開催されるなど、中山間地における新たな教育モデルとして注目されています。

さて、平成30年は成年です。賢く勇ましい犬のごとく、さまざまな難題にも知恵を振り絞って勇猛果敢に挑戦する年にしていきたいと、決意を新たにす

ところです。

3月には、町民の経済活動や安心安全な暮らしを支える道として待ち望まれてきた国道362号「青部バイパス」の全区間が、いよいよ開通します。開通を機に、町の一体化に向けた取り組みをさらに加速させていきます。

また、川根高校では、4月からの入学生を対象として全国公募が開始されます。全国各地からこの町に集まった生徒たちが町内出身の生徒たちとともに切磋琢磨していくことで、同校の魅力が増していくばかりでなく、町内の活性化にもつながっていくものと考えています。

最後になりましたが、引き続き、町民の皆さまのご協力と参画・協働をお願いしますとともに、平成30年が皆さまにとって、希望に満ち飛躍する1年であり、ますことをご祈念申し上げます。新春のごあいさついたします。

川根本町長

鈴木敏夫

町長 新年の1文字

いしづえ
礎

「礎」は、物事の基本となる大切な部分です。これからのまちづくりにおいても、1期目で手掛けたことをさらに充実させていくことで、町の未来に向けて「土台」をしっかりと固めていきたいと思っております。本年は、そのための重要な1年であると考えています。